/==1	山工業高等	事門学校	開講年度	平成30年度(2	2018年度)	授業	科目 -	 チャレンジゼミナ-	-ル基礎	
		3 (3) 3 3 (2)		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1221		<i>></i>	,, <u> </u>	
科日 圣 诞 10030 1003				科目区分	専	専門 / 必修				
授業形態 演習					単位の種別と単					
			学科(先進科学系)		対象学年	2				
開設期通年			,		週時間数		2			
			指定されたもの	指定されたもの						
担当教員	Į	松田 修								
到達目	標									
する能力 到達目標 ろいろな]を身につけ 票:1. 授業 β視点からの 写実と根拠を	る。 へ積極的に参 アプローチを	∮加し,仲間と協力し で考えることができる	ンて情報収集などの 5。3. 現在, 取り)作業に取り組む。)組んでいる内容を	2. 与えら	うれたテ- 理解できる	こ得られた成果を適切な - マに対して,試行錯誤 る。 4.レポートの組み 処を示しつつ簡潔に分か	の中からい	
ルーブ	`リック		1					1		
			理想的な到達レ		標準的な到達レ			未到達レベルの目安		
 評価項目1 			授業へ積極的に参加し,仲間と協力して情報収集などの作業に主体的に取り組んでいる。		授業へ積極的に参加し、仲間 力して情報収集などの作業に 組んでいる。					
学科の 教育方		項目との関	[係							
学科学習 概要 ーション 技術者教 授業の概 を取り上			る学問分野:1年生で学習した科目 目標との関連:本科目は総合理工学科の学習目標「(6)課題探究・解決能力の育成」,「(7)コミュニケ 、プレゼンテーションの育成」である。 育プログラムとの関連:本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(D)課題解決能力の育成」である。 要:各研究室の指導教員が与えたテーマに沿って,総合的な学習に取り組む。研究室によっては,特定の課題 げて研究活動を行う。 法:少人数のゼミ形式で行う。また,以下に挙げる授業計画は典型的なものを示している。具体的には各ゼミ							
受業の進	並め方・方法	で異なる成績評価	5ので,担当教員と相	談し、指示を受け	ること。			ポートの完成度, プレゼ		
注意点		整硬件日	1:これまで子省した	全ての教科			•	をよく聞き履修すること	0	
	·画	関連科目 受講上の とし、遅	1·全玄構(新) R T T T T T T T T T T T T T T T T T T	:全ての教科 (3年) 全系構断	(富翌 Ⅱ (4 年)	六 举研究	(5年) 受けてま 5る。	ぞよく闻き腹惨りること		
	画	関連科日	日:全系横断演習 I シアドバイス:事前に 逐刻の回数が多い場合	:全ての教科 (3年) 全系構断	(富翌 Ⅱ (4 年)	卒業研究 ドバイスを ることもあ	(5年) 受けてま 5る。			
	画	関連科目 受講上の とし,遅 週	日:全系横断演習 I ウアドバイス:事前に図りの回数が多い場合	:全ての教科 (3年) 全系構断	(富翌 Π (4 年)	卒業研究 ドバイスを ることもあ	(5年) で受けてす うる。 到達目標	おくこと。授業開始 10 🛚		
	画	関連科目 受講上の とし,遅 週 1週	: 全系横断演習 I シアドバイス: 事前に 対の回数が多い場合 授業内容 ガイダンス	:全ての教科 (3年) 全系構断	(富翌 Π (4 年)	卒業研究 ドバイスを ることもあ 週ごとの3	(5年) で受けてす うる。 到達目標 を整理す	おくこと。授業開始 10 ·		
		関連科目受講上のとし、遅週 1週 2週	主 全系横断演習 I シアドバイス:事前に 対 の回数が多い場合授業内容 ガイダンス 基礎知識の確認 1	:全ての教科 (3年) 全系構断	(富翌 Π (4 年)	卒業研究 ドバイスを ることもあ 週ごとの 基礎知識	(5年) で受けてす 5る。 到達目標 を整理す を整理す	うくこと。授業開始 10 ること. ること.		
	画 1stQ	関連科目 受講上の とし、遅 1週 2週 3週 4週 5週	主 全系横断演習 I アドバイス:事前に対している。対の回数が多い場合授業内容ガイダンス基礎知識の確認 1基礎知識の確認 2	全ての教科 (3年),全系横断 希望する研究室を は,警告を行った	演習Ⅱ(4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究 ドバイスを ることもあ 週ごとの 基礎知識 基礎知識 基礎知識	(5年) で受けてす うる。 到達目標 を整理す を整理す を整理す	うくこと。授業開始 10 ること. ること.	分までを遅	
		関連科目 受講上の 退 1週 2週 3週 4週 5週 6週	 ・全系横断演習 I シアドバイス:事前に対力の回数が多い場合 授業内容ガイダンス基礎知識の確認 1基礎知識の確認 2基礎知識の確認 3課題設定やテーマ記課題設定やテーマ記録 	全ての教科 (3年),全系横断 (3年),全系横断 希望する研究室を は、警告を行った 設定の方法の学習1 设定の方法の学習2	演習 II (4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究 ドバイスを ることもあ 週ごとの 基礎知識 基礎知識 課題設定と 課題設定と	(5年) 2受けては 500。 到達目標 を整理す を整理す をを整理す やテーマ	おくこと。授業開始 10 で ること。 ること。 ること。 ること。 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる	分までを遅 う う こ と う こ と	
		関連科目の選手上の選手上の選手上の選手上の選手上の選手上の選手上の選手上の選手上の選手上	 主 全系横断演習 I アドバイス:事前に対の回数が多い場合 授業内容 ガイダンス 基礎知識の確認 1 基礎知識の確認 2 基礎知識の確認 3 課題設定やテーマ語 課題設定やテーマ語 課題設定やテーマ語 課題設定やテーマ語 	全ての教科 (3年) , 全系横断 希望する研究室を には, 警告を行った 設定の方法の学習1 設定の方法の学習2 设定の方法の学習3	演習 II (4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究 ドバイスを ることの 過ごとの 基礎知識 基礎知識 課題設定と 課題設定と 課題設定と	(5年) 2受けては 500。 別達目標 を整理す を整理す やアーマ やアーマ	おくこと。授業開始 10 で ること. ること. ること. 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる	分までを遅 うこと. うこと.	
受業計		関連科目の 受講上の 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	 ・全系横断演習 I アドバイス:事前に対して、 事前に対して、 事前に対して、 事前に対して、 事前に対して、 事前に対して、 事が多い場合 授業内容 ガイダンス 基礎知識の確認 1 基礎知識の確認 2 基礎知識の確認 3 課題設定やテーマ語 課題設定やテーマ語 課題設定やテーマ語 課題設定やテーマ語 情報収集の方法の等 	全ての教科 (3年) ,全系横断 希望する研究室を には,警告を行った 設定の方法の学習1 設定の方法の学習2 設定の方法の学習3	演習 II (4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究 を	(5年) (5年) (5百) (5百) (50) (50) (50) (50) (50) (50) (50) (50	ること。授業開始 10 ること。 ること。 ること。 ること。 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる	分までを遅 うこと. うこと.	
受業計		関連科目の 理議し、 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週		全ての教科 (3年),全系横断 (3年),全系横断 希望する研究室を には,警告を行った 設定の方法の学習 1 設定の方法の学習 3 と変での方法の学習 3 と変での方法の学習 3	演習 II (4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究 を	(5年) (5年) (5年) (553。 回達目標 を整理す を整理す を整理す でデーマ でデーマ でデーマ でアーマ でかテーマ でかテーマ	おくこと。授業開始 10 · ること. ること. ること. 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる	分までを遅 うこと. うこと.	
受業計		関連科目の 受講し、選 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	 ・全系横断演習 I アドバイス:事前に対けて、 事前に対けて、 事前に対けて、 事前に対けて、 事前に対けて、 事前に対けて、 事が多い場合 授業内容 ガイダンス 基礎知識の確認 2 基礎知識の確認 3 課題設定やテーマ語 課題設定やテーマ語 課題設定やテーマ語 情報収集の方法の当情報収集の方法の当情報収集の方法の当時報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報	全ての教科 (3年),全系横断 (3年),全系横断 希望する研究室を には,警告を行った 設定の方法の学習 1 設定の方法の学習 3 学習 1 学習 2	演習 II (4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究 を	(5年) (5年) (5年) (5元) (5元) (5元) (5元) (5元) (5元) (5元) (5元	おくこと。授業開始 10 m ること. ること. ること. 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる	分までを遅 5 こと. 5 こと.	
受業計		関連科目の選手を表現した。 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	主 全系横断演習 I のアドバイス:事前に対力アドバイス:事前に対力アドバイス:事前に対力の回数が多い場合が多い場合が多い場合が多い場合が多い場合を表現である。 基礎知識の確認 2 基礎知識の確認 3 課題設定やテーマ記課題設定やテーマ記課題設定やテーマ記課題設定やテーマ記録を表現集の方法の時報収集の方法の時報収集の方法の時間報収集の方法の時間報収集の方法の時間報収集の方法の時間報収集の方法の時間報収集の方法の時間報収集の方法の時間を表現しています。	全ての教科 (3年),全系横断 (3年),全系横断 希望する研究室を は,警告を行った 设定の方法の学習 1 设定の方法の学習 2 设定の方法の学習 3 学習 1 学習 2 学習 3	演習 II (4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究を を で と の の	(5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年)	ること。授業開始 10 - ること。 ること。 ること。 ること。 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 知ること。 知ること。 知ること。	分までを遅 5 こと. 5 こと.	
受業計		関連科目の選手を表現した。 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 12週 12週 12週 12週 12週 12週 12週 12週 12	: 全系横断演習 I のアドバイス: 事前に対対の回数が多い場合 授業内容 ガイダンス 基礎知識の確認 2 基礎知識の確認 3 課題設定やテーマ記 課題設定やテーマ記 課題設定やテーマ記 課題設定やテーマ記 課題設定の方法の 情報収集の方法の 情報収集の方法の 「一夕の分析法の データの分析法の データの分析法の	全ての教科 (3年),全系横断 (3年),全系横断 高望する研究室を 設定の方法の学習 2 设定の方法の学習 3 学習 1 学習 2 学習 3 学習 1	演習 II (4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究を を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	(5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年)	ること。授業開始 10 で ること・ ること・ ること・ 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 知ること・ 知ること・ わかる・ 知ること・	分までを遅 50こと. 50こと.	
受業計	1stQ	関連科目の選手を表現した。 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 13週 13週 13週 13週 13週 13週 13週 13週 13	: 全系横断演習 I に対けています。 「アドバイス: 事前に対力アドバイス: 事前に対力の回数が多い場合を対力を対力を対した。 「授業内容が多い場合を対した。 「要礎知識の確認 2 基礎知識の確認 2 基礎知識の確認 3 課題設定やテーマ語課題設定やテーマ語課題設定やテーマ語情報収集の方法の特報収集の方法の特報収集の方法の特別で一タの分析法の特別で一タの分析法の特別で一タの分析法の特別で一タの分析法の特別でデータの分析法の特別でデータの分析法の特別でデータの分析法の特別でデータの分析法の特別でデータの分析法の特別でデータの分析法の特別でデータの分析法の特別である。	全ての教科 (3年),全系横断 (3年),る研究室を 会には、警告を行った は、警告を行った とこの方法の学習 2 とこの方法の学習 3 学習 1 学習 2 学習 3 学習 1 学習 2 学習 3	演習 II (4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究を を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	(5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年)	ること。授業開始 10 で ること、 ること、 ること、 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 知ること、 知ること、 知ること、 知ること、 知ること、 知ること、	分までを遅 50こと. 50こと.	
受業計	1stQ	関連科目の選手を表現した。 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 112週 112週 113週 114週 114週 114週 114週 114週 114週 114	1:全系横断演習 I でアドバイス:事前に対けて、	全ての教科(3年),全系横断(3年),合系領域の研究室を系統は,警告を行った。 登定の方法の学習1 設定の方法の学習3 学習1 学習2 学習3 学習1 学習2 学習3 学習1 学習2 学習3 学習1	演習 II (4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究を ボスマート では できない できない できない できない できない できない できない できない	(5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年)	ること。授業開始 10 m ること. ること. ること. ること. 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 知ること. 知ること. 知ること. 知ること. 知ること.	分までを遅 50こと. 50こと.	
受業計	1stQ	関連科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	: 全系横断演習 I に対けています。 「アドバイス: 事前に対力アドバイス: 事前に対力の回数が多い場合を対力を対力を対した。 「授業内容が多い場合を対した。 「要礎知識の確認 2 基礎知識の確認 2 基礎知識の確認 3 課題設定やテーマ語課題設定やテーマ語課題設定やテーマ語情報収集の方法の特報収集の方法の特報収集の方法の特別で一タの分析法の特別で一タの分析法の特別で一タの分析法の特別で一タの分析法の特別でデータの分析法の特別でデータの分析法の特別でデータの分析法の特別でデータの分析法の特別でデータの分析法の特別でデータの分析法の特別でデータの分析法の特別である。	全ての教科(3年),全系横断(3年),合系領域の研究室を系統は,警告を行った。 登定の方法の学習1 設定の方法の学習3 学習1 学習2 学習3 学習1 学習2 学習3 学習1 学習2 学習3 学習1	演習 II (4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究を ボスマート では できない できない できない できない できない できない できない できない	(5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年)	ること。授業開始 10 で ること、 ること、 ること、 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 知ること、 知ること、 知ること、 知ること、 知ること、 知ること、	分までを遅 50こと. 50こと.	
受業計	1stQ	関連科目の選手を表現した。 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 112週 112週 113週 114週 114週 114週 114週 114週 114週 114	1:全系横断演習 I でアドバイス:事前に対けて、	全ての教科(3年),全系横断(3年),合系領域の研究室を系統は,警告を行った。 登定の方法の学習1 設定の方法の学習3 学習1 学習2 学習3 学習1 学習2 学習3 学習1 学習2 学習3 学習1	演習 II (4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究を ボスマート では できない できない できない できない できない できない できない できない	(5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年) (5年)	ること。授業開始 10 m ること. ること. ること. ること. 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 知ること. 知ること. 知ること. 知ること. 知ること.	分までを遅 50こと. 50こと.	
受業計	1stQ	関連科目の選手を表現した。 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11	1:全系横断演習 I でアドバイス:事前に対けて、	全ての教科 (3年),全系横断 (3年),会系横断 (3年),会系横断 (3年),会系横断 (3年),会系 (2年) (3年) (3年) (3年) (3年) (3年) (3年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4	演習 II (4年), 訪ね, 受講上のア 後, 欠課扱いとす	卒業研究を を	(5年)(5年)(5年)(5年)(5年)(5年)(5年)(5年)(5年)(5年)	ること。授業開始 10 m ること. ること. ること. ること. 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 知ること. 知ること. 知ること. 知ること. 知ること.	分までを遅 50こと. 50こと. 50こと.	
受業計	1stQ	関連群し、 週 1週 2週 3週 4週 5週 3週 7週 8週 9週 10週 週 11週 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月	1:全系横断演習 I に全系横断演習 I に全系横断演習 I に対けています。	全ての教科(3年),全系横断(3年),会系横断を発生を表現の方式の学習1とでの方法の学習2とでの方法の学習3学習1を習3を習1とで図3との学習1とで図3との学習1とで図3との学習2と学習3との学習2とで図3との学習2とで図3との学習2とで図3との学習2とで図3との学習2とで図3との学習2とで図3というでき	演習 II (4年), 訪ね,受講上のア 後,欠課扱いとす	卒業研究を を で で で で で で で で で で で で で	(5年) (5年) (5度)。 (56)。 (56)	ること。授業開始 10 m ること. ること. ること. ること. 設定の方法を整理できる設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 知ること. 知ること. 知ること. 知ること. 知ること.	分までを遅 5こと. 5こと. 5こと.	
受業計	1stQ	関連群し、 週 1週 2週 3週 4週 5週 7週 8週 70週 8週 10週 110週 110週 110週 110週 110週 110週	: 全系横断演習 I に 対	全ての教科(3年), 会系横断(3年), 会系横断を発生を行った。	演習Ⅱ(4年), 訪ね,受講上のア 後,欠課扱いとす	卒業研究を を で を で で で で で で で で で で で の で を の の を を の の を を の の を を の の の の の の の の の の の の の	(15年) (154	ること。授業開始 10 で ること・ ること・ ること・ 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 設定の方法を整理できる 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・	分までを遅 5こと. 5こと. 5こと. 5こと. 5きること.	
受業計	1stQ	関連群し、 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 11週 12週 13週 113週 113週 113週 113週 113週 1	: 全系横断演習 I に 対	全ての教科(3年),会系横断(3年),会系横断を発生を行った。 発生の方法の学習1 設定の方法の学習2 設定の方法の学習3 学習1 学習2 学習3 学習1 学習2 学習3 学習1 学習2 学習3 との学習1 と可考2 学習2 学習3 との学習1 と可考2 と可考2 と同学2 と同学2 と同学3 と同子3 と同学3 と同学3 と同学3 と同学3 と同学3 と同学3 と同学3 と同学3 と同学3 と同学3 と	演習Ⅱ(4年), 訪ね,受講上のア 後,欠課扱いとす	卒業研究を を で を で を の が を の が を の を を の を を の を を の を を の の を を の の を を の の の の の の の の の の の の の	(15年) (154	ること。授業開始 10 でのできる。 ること・の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ 知ること・ に関するテーマ設定がでに関するテーマ設定がで	分までを遅 ること. ること. ること. きること. ぎきること. できること.	
授業計	1stQ 2ndQ	関連群 の 週 1 週 2 週 3 週 4 週 5 週 8 週 9 週 1 1 1 2 週 週 1 1 2 週 週 1 1 3 週 週 1 1 1 3 週 1 1 1 1 1 1 1 1	: 全系横断演習 I に 全系横断演習 I に 全系横断演習 I に 対 アドバイス: 事前に 対 アドバイダンス 基礎知識の確認 2 基礎知識の確認 2 基礎知識の確認 3 課題設定やテーマ記 課題設定やテーマ記 課題設定やテーマ記 けい 乗り で アータの分析法の データの分析法の データの 分析法の データの 分析 法の アーター マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・	全ての教科(3年),会系横断(3年),会系横断を発生を行った。	演習Ⅱ(4年), 訪ね,受講上のア 後,欠課扱いとす	平業研究を表する。 選挙を受ける。 基をでは、 選をできます。 基をできます。 基をできます。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	(5 年) C ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ること。授業開始 10 m ること。 ること。 ること。 ること。 設定の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 知ること。 知ること。 知ること。 知ること。 知ること。 知ること。 知ること。 に関するテーマ設定がでに関するテーマ設定がでに関するテーマ設定がで	分までを遅 ること. ること. ること. きること. きること. きること. きること.	
授業計	1stQ 2ndQ	関連群し、 週 1週 2週 3週 4週 5週 7週 8週 10週 10週 10週 10週 10週 11週 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11	: 全系横断演習 I に 全系横断演習 I に 全系横断演習 I に 対 アドバイス: 事前に 対 アドバイダンス 基礎知識の確認 2 基礎知識の確認 2 基礎知識の確認 3 課題設定やテーマ記 課題設定やテーマ記 課題設定やテーマ記 情報収集の方法の	全ての教科(3年) 4条 横断(3年) 4条 横断を 3年 4条 で 3年 4条 で 3年 4年	演習Ⅱ(4年), 訪ね,受講上のア 後,欠課扱いとす	平学ドる 選を受ける。 選を受ける。 選を受ける。 選を受ける。 選を受ける。 選を受ける。 選を受ける。 選のでは、 ででででででです。 でででででできる。 をしている。 ででででできる。 をしている。 ででででででできる。 をしている。 ででででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	(5受る) 関をををややののの分分分分分分 自自自自 マママをををがたををを 究究究関 関	ること。授業開始 10 を ること。 ること。 ること。 ること。 設定の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 知ること。 に関するテーマ設定がて に関するテーマ設定がて に関するテーマ設定がて に関する「可して に関する」 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する。 に関する に関する に関する に関する に関する に関する に関する に関する	分までを遅 ること. ること. うこと. うこと. できること. できること. できること.	
授業計	1stQ 2ndQ	関連群し、 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 10週 10週 10週 11週 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11	: 全系横断漢字 に全系横断漢字 に会系横断漢字 にまる	全ての教科(3年), 3年(3年), 3	演習Ⅱ(4年), 訪ね,受講上のア 後,欠課扱いとす	平学ドる 選基 基礎 課題 報報 収収 タタタタの が デーータ 各個 人人 人の のの	(5受る)関をををやややののの分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分	おくこと。授業開始 10 man a c c c c c c c c c c c c c c c c c c	分までを遅 ること. ること. ること. きること. きること. きすること. またすること なたすること	
注意	1stQ 2ndQ	関連群し、 週 1 週 3 週 4 週 3 週 8 週 1 1 2 週 週 1 1 2 週 週 1 1 2 週 週 1 1 2 週 週 1 1 3 週 週 1 4 週 1 5 週 週 4 週 3 週 4 週 3 週 4 週 5 週 6 週 7 週 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		全ての教科(3年) (3年) (3年) (3年) (3年) (3年) (3年) (3年)	演習Ⅱ(4年), 訪ね,受講上のア 後,欠課扱いとす	平学ドる 選基 基課課 課情情 デデデー データタクタの の の の の の の の の の の の の の の の の の	(5受る) 関をををややののの分分分分分分 自自自一 マークのですが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	ること。授業開始 10 を ること。 ること。 ること。 ること。 設定の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 知ること。 に関するテーマ設定がて に関する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認	分までを遅 3.こと、 3.こと、 3.こと、 5.こと、 できること、 できること、 できること、 対定すること 対定すること	
授業計	1stQ 2ndQ	関連群し、 週 1 週 週 3 週 個 2 週 週 個 3 週 週 個 3 週 週 個 1 1 2 週 週 週 個 1 1 2 週 週 週 週 1 1 3 週 週 週 1 4 週 週 1 3 週 週 4 週 週 3 週 週 4 週 週 3 週 個 5 週 個 7 週 8 週 8 回 8 回 8 回 8 回 8 回 8 回 8 回 8 回 8	: 全系横断に (主) 全 (主) を (主) を	全ての教科(3年) (3年) (3年) (3年) (3年) (3年) (3年) (3年)	演習Ⅱ(4年), 訪ね,受講上のア 後,欠課扱いとす	平学ドる 選基 基課課 情情デデデデー 医療	(5受る) 関をををややののの分分分分分 自自自一 ー ー のののののののの分分分分分分 自自自一 ー ー のののののののののののののの分分分分分 自自自一 ー ー のののののののののののののののののののののののののののののの	ること。授業開始 10 を ること。 ること。 ること。 ること。 設定の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 設定の方法を整理できる。 知ること。 に関するテーマ設定がて に関するテーマ設定がて に関する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認 する情報収集と課題を認	分までを遅 3.こと、 3.こと、 3.こと、 5.こと、 できること、 変定すること 数定すること 数定すること	

	12	週 論文	てやプレゼン資料	等の作成と発表の	D練習等 2	論文やプレゼン資	料等を作成	すること.	
	13	週論文	てやプレゼン資料	等の作成と発表の	D練習等3	論文やプレゼン資	料等を作成	すること.	
				緊報告書)または					
	15		見のまとめ(最終	『報告書)または	発表等 2				
	16								
Eデルコス	アカリキュ	1	当内容と到達	目標				1	1
} 類	1	分野		学習内容の到達目				到達レベル	授業週
			I +			み、その内容を把握す		2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で 正しい文章を記述できる。				2	
			I +	他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。				2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させ				2	
				ることができる。					
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。				2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相 づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。				2	
			I F	他者の意見を聞き				2	
				合意形成のために	会話を成立させ	ることができる。		2	
					ワークショップ	等の特定の合意形成の	 の方法を実	2	
			泛 汎用的技能	践できる。	l ==>./		ロチン☆レフィー	_	
				書籍、インターネ 収集することがで	、ット、アンケー ごきる。	ト等により必要な情報	物を週切に	2	
				収集した情報の取		分類などにより、活脈	用すべき情	2	
				報を選択できる。 収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。				2	
	汎用的技能	汎用的技能		情報発信にあたっ	ては、発信する	内容及びその影響範囲	囲について	2	
	W W IJY XAC			自己責任が発生す 情報発信にあたっ	ては、個人情報	<u>いる。</u> および著作権への配別	患が必要で	2	
				あることを知っている。 目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発				2	
				信(プレゼンテー: あるべき姿と現状	2				
				きる				2	
分野横断的 能力				特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析の ために効果的な図や表を用いることができる。				2	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。				2	
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・ 合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等				2	
				の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。 どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる					
				0				2	
			I F	適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。				2	
			I F	事実をもとに論理や考察を展開できる。				2	
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。				2	
					の立場に照らし	、必要な行動をとる。	ことができ	2	
			I +	<u>る。</u> 白らの老えで青年			できる	2	
			l F	目標の実現に向け			<u>、この。</u>	2	
			I +	目標の実現に向けて自らを律して行動できる。				2	
			I +			1337 CC 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 	<u> </u>	2	
						身の感情をコントロー			
	態度・志向 性(人間力)	性] 態度・志向 性	者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができ る。				2	
			I'	当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる				2	
				。 チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。				2	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。				2	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。				2	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内 での相談が必要であることを知っている				2	
評価割合				7 -> IMB//// XD-24 (1
	参加意	<u></u> 欽 =	テーマへの熱意	内容の理解度	レポートの完度	成 プレゼンテーション	その他	合計	†
 総合評価割合	⇒ 20	1	20	20	20	20	0	100)
基礎的能力	20		20	20	20	20	0	100	
							+ -		
専門的能力	0	()	0	0	0	0	0	